

① 研究遍歴

② 研究内容

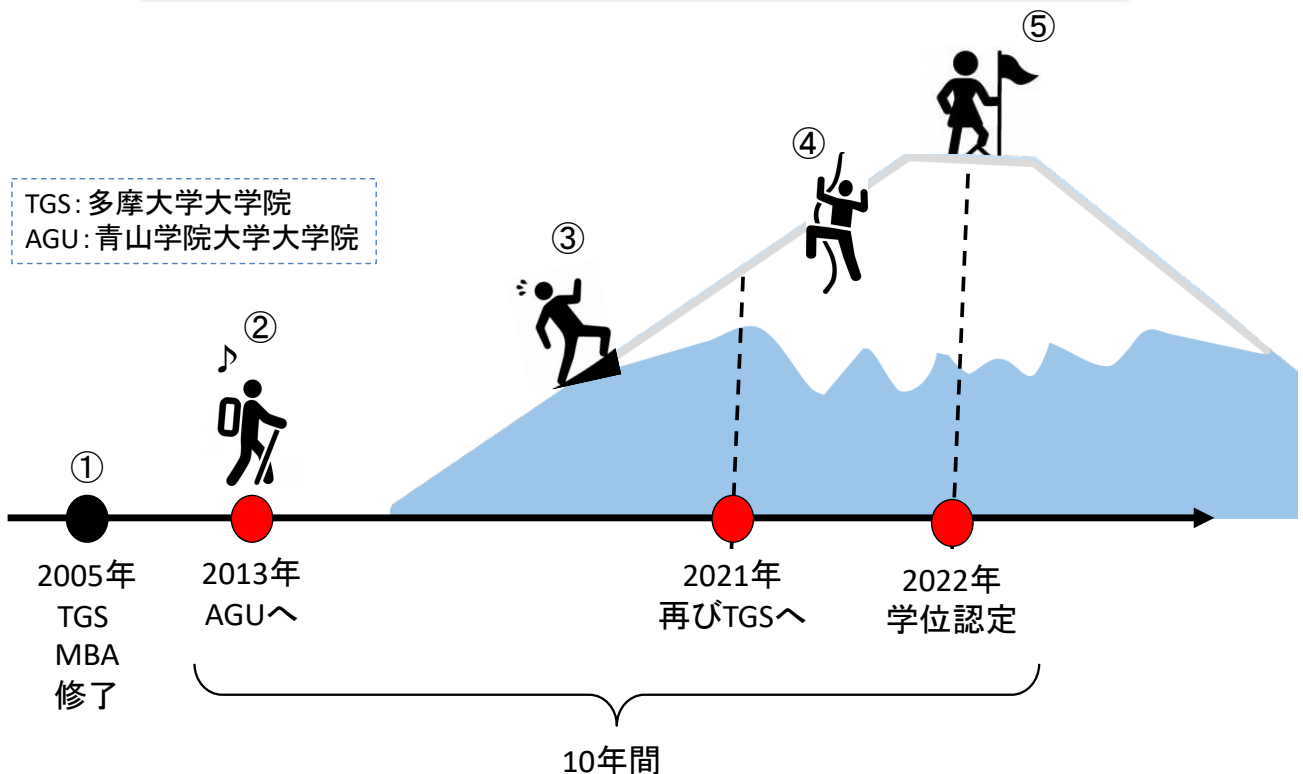
どんな研究か、何を発見したのかを中心に
15枚-30分

チャットにてご案内しておりますが、最上雄太の博士論文は、
以下にて全文ご覧いただけますのでどうぞご覧ください。
ダウンロードも可能です。

<https://official.ideass.jp/yutamogami/dissatation/>

1

博士学位に向けた10年の挑戦



博士論文のテーマ

シェアド・リーダーシップが発生する メカニズムの質的研究

組織変革チーム「挑戦者の会」のエスノグラフィー

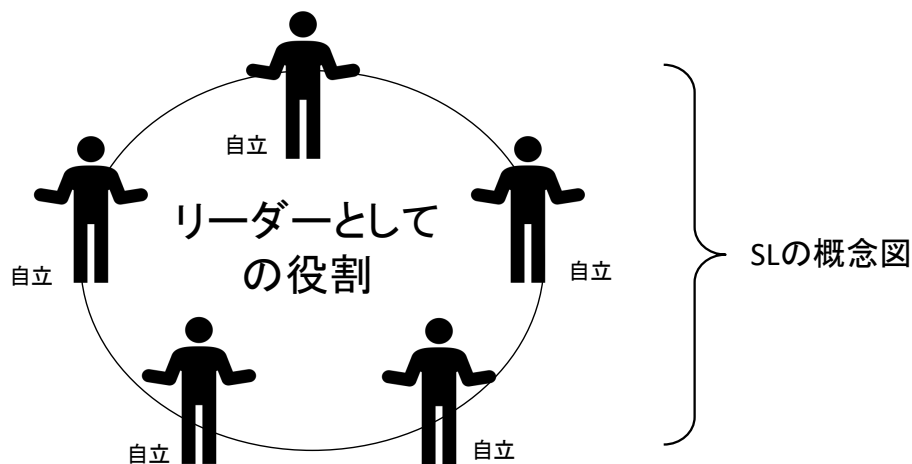
シェアド・リーダーシップ（以下 SL）とは、リーダーとしての役割が
チーム・メンバーに共有されていくと仮定するチーム概念のこと

SLの何を研究したのか ▶

SLの何を研究したのか？

SLがいかに発生するのか？そのプロセスは？

▶ 再確認・・・SLとはリーダーとしての役割がチーム・メンバーに共有されていくと仮定するチーム概念



この研究の背景は？ ▶

この研究の背景は？

1. 伝統的に、リーダーシップという社会現象は、リーダーに帰属する影響力とみなされてきた。
2. 近年、リーダーシップは関係性という議論が活発化した。
3. このような議論から、SL研究が始まる。

本研究は、どんな「問い」を設定したのか？ ▶

どんな「問い」を設定したのか？

1. SLの先行研究では、定量的な手法を用いて、SLに影響を及ぼす要素が解明—**静止画として**—されている。
2. しかしながら、チームの活動を通じていかにリーダーの役割がチーム・メンバーに共有され、SLが発生するのか—**動画として**—が未解明。
3. 以上より、本研究では、次の「問い」を設定。

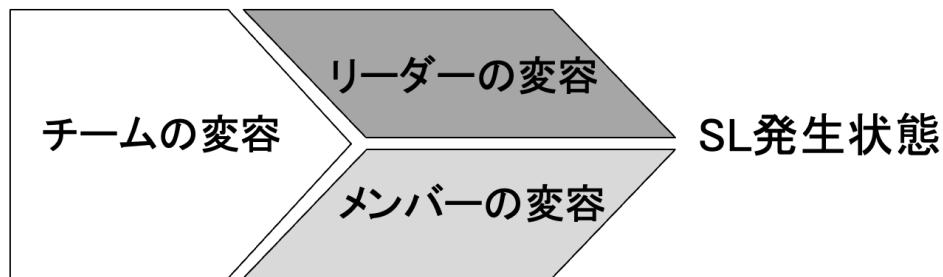


SLが発生するプロセスで、公式なリーダーとチーム・メンバーがいかに影響を与え合うのか？そして、リーダーの役割がいかに共有されていくのか？

では、結論として何がわかったのか？ ▶

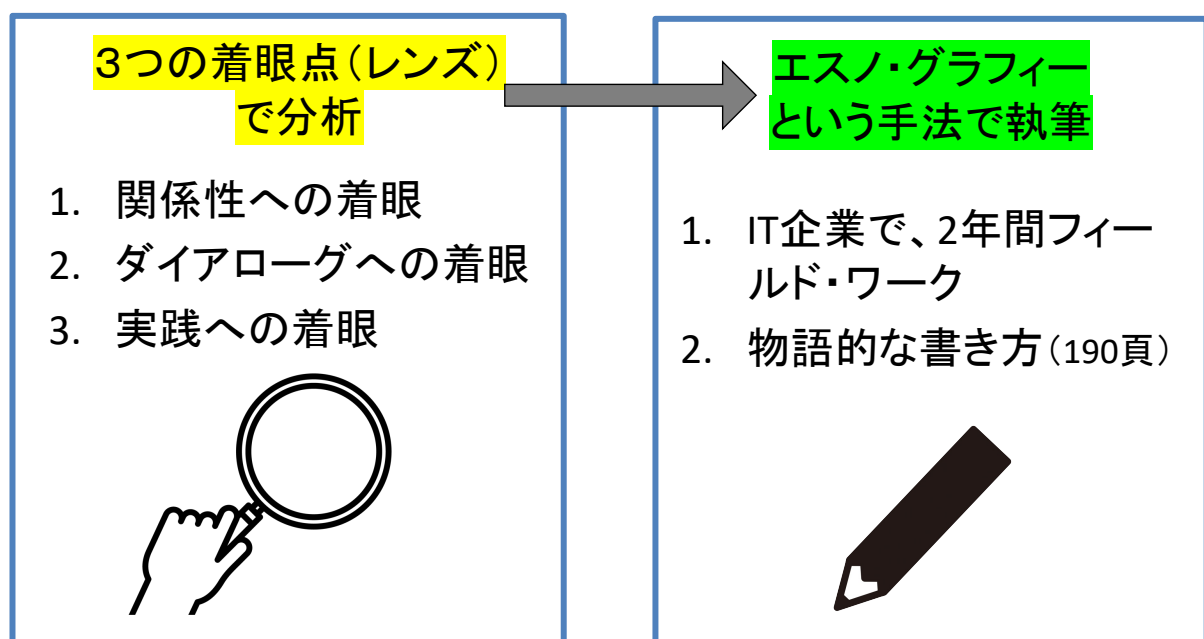
結論として何がわかったのか？

SLの発生は、チーム・メンバー間のダイアログを通じて、次の3つのプロセスがほぼ同時に進行していく「三幅対」(サンプクツイ)のプロセスなる様態から説明できることが明らかとなった。



この研究はどのように行われたのか？ ▶

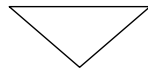
この研究はどのように行われたのか？



どんな発見をしたのか？ ▶

SL発生に深く関わる主要な発見

- ① モノローグ組織
- ② ダイアログ
- ③ 感情の共鳴
- ④ 三幅対のプロセス



SLが発生するプロセスで、公式なリーダーとチーム・メンバーがいかに影響を与え合うのか？そして、リーダーの役割がいかに共有されていくのか？

発見①「モノローグ組織」の存在

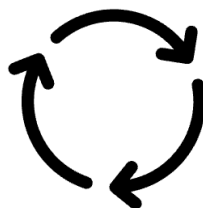
「モノローグ組織」・・・自己の意思を抑制し、他者と積極的に交流せず、問題を他人事として捉える人々の集団

▶ 成果主義の強調、個人主義を助長、現状に安住

「数字による狭窄」

実践共同体の知識としての価値体系

「組織人」
正統的な参加者としてのアイデンティティ



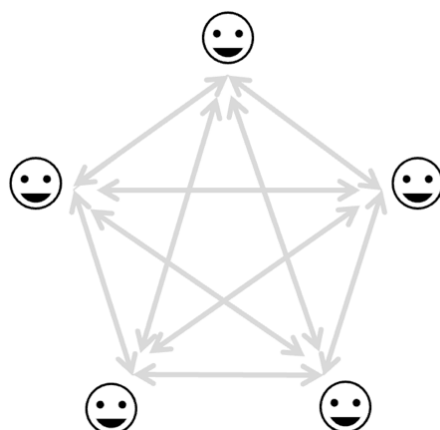
モノローグの関係
チームメンバー間の社会的関係

発見② ダイアログによる転換 ▶

発見② ダイアログによる転換

「ダイアログ」・・・共通の目的にむけて、率直な意思のぶつけ合いを行う継続的な関係

▶ チーム・レベルのダイアログの関係が創出

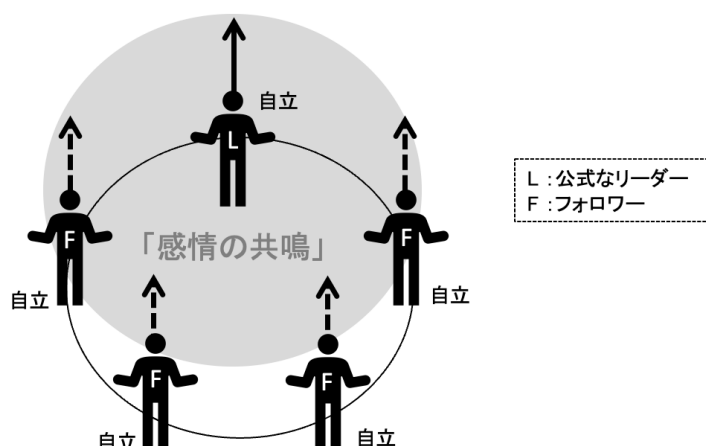


発見③「感情の共鳴」がSL発生 of 原動力 ▶

発見③「感情の共鳴」がSL発生 of 原動力

「感情の共鳴」・・・リーダーを起点に、モノログの関係を自分事と認識、「脱皮したい」という思いが連鎖する関係

▶ 各々が自立し、リーダーとしての行為を変化

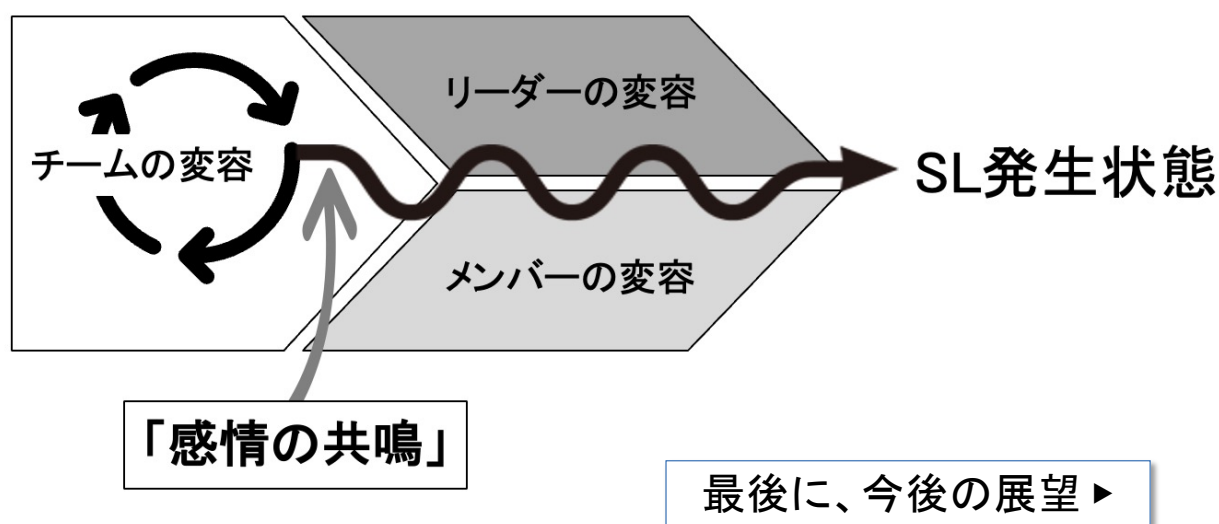


結論「感情の共鳴」を中心とする「三幅対のプロセス」▶

結論「感情の共鳴」を中心とする「三幅対のプロセス」

SL発生状態に至るプロセスは「感情の共鳴」を中心とする「三幅対のプロセス」から説明できる。

▶ ダイアログ×感情の共鳴 = SL発生鍵



最後に、今後の展望

私の研究は、いま始まったばかりです
さらに深掘りしていく研究活動
変化を導くリーダーをつくる教育活動を継続します

- ① モノログ組織
- ② ダイアログ
- ③ 感情の共鳴
- ④ 三幅対のプロセス

ご静聴ありがとうございました！



- ① 研究遍歴
- ② 研究内容



チャットにてご案内しておりますが、最上雄太の博士論文は、
以下にて全文ご覧いただけますのでどうぞご覧ください。
ダウンロードも可能です。

<https://official.ideass.jp/yutamogami/dissatation/>

御礼のご挨拶



- 感謝の言葉
- 皆様の支えあって
- 10年間の貴重な経験
- 責任と行動
- 再度、感謝の言葉